

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ゴールドパック株式会社					
代表者名	氏名	林 邦広	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都品川区東品川4丁目13-14					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	10 飲料・たばこ・飼料製造業				
主たる事業の概要	飲料製品及び原料用果汁・野菜汁の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kL	19,740	19,148			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	39,330				
	調整後排出量	t-CO ₂	37,929	36,744		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0				
自動車の台数	台	9				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度
------	------	----

計画期間	2023	年度～	2025	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度		年度
--------	--	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	あずみ野工場 安曇野市堀金烏川1984-1 9:00～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	担当：製造技術部あずみ野設備課 連絡先電話番号 0263-73-5997 松本工場 松本市双葉12-63 9:00～17:00
<input type="checkbox"/>	その他	担当：製造技術部松本設備課 連絡先電話番号 0263-25-3415

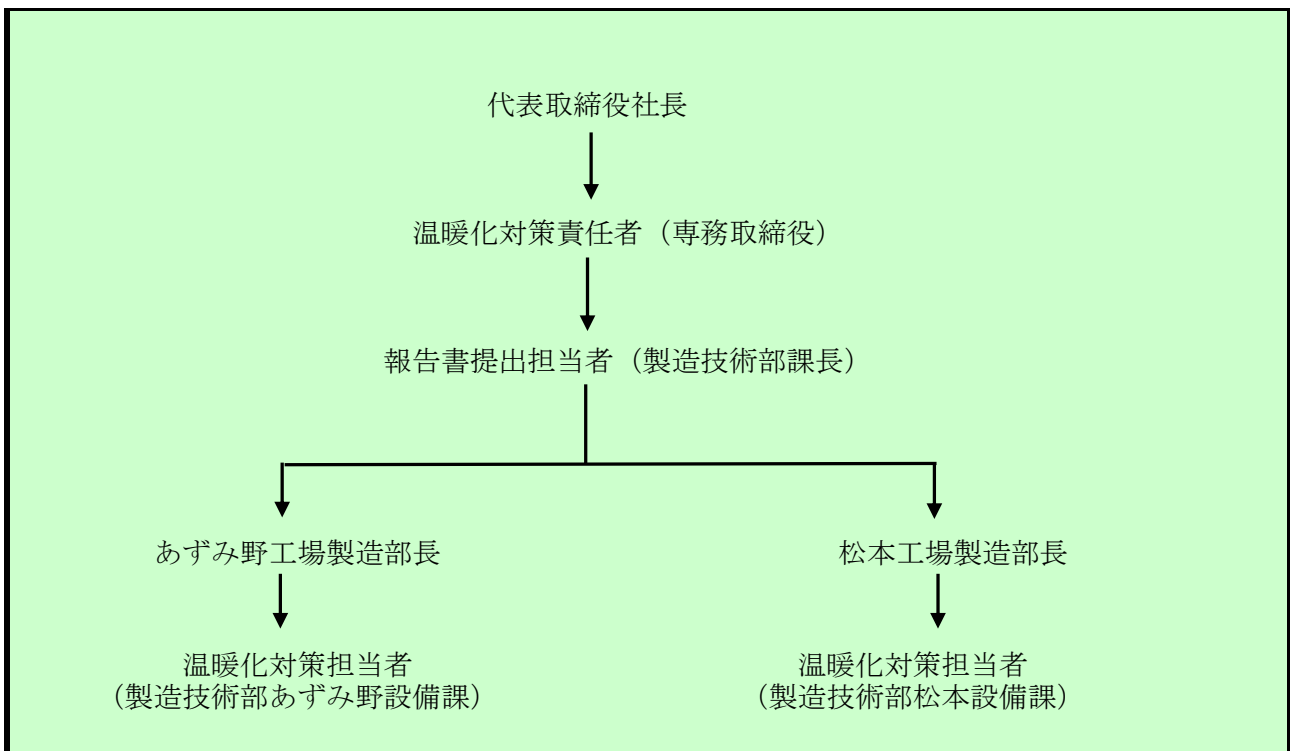
4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

1. エネルギーを消費する設備を設置するに当たっては、エネルギーの消費効率が優れ、かつ効率的な使用が可能なものを導入、設置する。
2. エネルギーを消費する設備の運転管理、計測記録、保守点検、新設時の措置について管理標準を設定し、これに基づいた設備管理を行う。
3. エネルギーの消費効率の向上および効率的な使用の観点から、補助金等の支援策を活用し既存設備の更新、改善および付加設備の早期導入に努める。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	二酸化炭素排出量削減目標値 2030年度30%削減(2020年度基準)
削減計画の概要	二酸化炭素排出量削減目標値 2030年度30%削減(2020年度基準) 2023年～2030年省エネ施策によりCO2排出量を1%削減。(2020年度基準) 年間削減量 395t-CO2 (松本 87t-CO2/年 あずみ野 302t-CO2/年) 2026年以降に向けて創エネ、再エネの検討(太陽光発電、CO2フリー電気)					
イニシアチブ 参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・工場会議(月毎)によるエネルギー原単位と二酸化炭素排出量の報告
- ・環境委員会(年3回)によるエネルギー施策の検討、立案

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	39,330	t-CO ₂	生産重量	453.03	単位	千t
2022年度	調整後排出量	37,929	t-CO ₂	基準原単位	86.82	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	36,744	t-CO ₂	目標原単位	84.22	t-CO ₂ /	千t
2025年度	目標削減率	6.57	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	燃料類及び熱と電気の使用量の割合は大きく変化しないと推定されるため省エネ法に準じて、エネルギー原単位を年率1%、3年間で約3%の削減をベースとして、目標に設定。 2020年度の二酸化炭素排出量である1%（松本87t-CO ₂ /年 あずみ野308t-CO ₂ /年）を、毎年の削減目標と設定。						
第一年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	ポンプ	送水ポンプの高効率モーター更新	2024～2025	41		
2	エネ起	ファン・ブローア	排水処理 散気管更新	2023～2024	35		
3	エネ起	ボイラ	第一工場製造設備機器保温	2023	122		
4	エネ起	ボイラ	第二工場製造設備機器保温	2023	99.6		
5	エネ起	ポンプ	井戸ポンプ更新	2024～2025	1585		
6	エネ起	ボイラ	蒸気配管保温 (第一、第二)	2023	100		
7	エネ起	ポンプ	井戸ポンプ インバーター化 (1.2)	2023	10		
8	エネ起	給湯・給排水	井戸給水流量調整	2023	42		
9	エネ起	ポンプ	排水ポンプ インバーター化	2023～2024	38		
10	エネ起	熱源設備	冷蔵庫設備更新	2025	38		

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	3,120	使用電力量 の10%			
うち県内産	千kWh/年					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	39,330						
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	2	39,330						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N ₂ O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃	0			
合計	0			

1.3 次世代自動車の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	2			
合計	2	0	0	0
自動車総数	9			
次世代自動車導入割合	22.2			

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張時の移動は、公共交通機関を利用する
自転車の利用促進	一定距離（2km）以下の通勤は自転車、バイク通勤の推奨
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	該当なし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	該当なし
物流の合理化	空荷を出来る限りなくす輸送形態への努力。

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD） 支持を表明している		2022
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2003
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
<input type="checkbox"/> ZEB	の認証を取得している		
<input checked="" type="checkbox"/> デイマンド・レスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している		2023
<input checked="" type="checkbox"/> その他	県森林の里親制度を活用した安曇野市一ノ沢地区の市有林整備（約16.6ha）		2021

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

<p>あずみ野工場 地下水の涵養域における森林整備活動</p> <p>松本工場 穴田川を守る会への参加</p> <p>両工場 省エネ診断による、エネルギーの効率化 スチームトラップ診断による、蒸気ロスの低減 エアリークエフ活動による、圧縮空気ロス改善</p>
